

日本感性工学会の紹介

日本感性工学会で新たな発見を。

未来を感じる、
感性の探求。



日本感性工学会

感性工学(Kansei Engineering)のはじまり

1980年代 ……【産】 産業界からはじまる

1986年 マツダの山本社長が米国での講演で紹介

1990年代 ……【学】 学術機関（大学・学会）ではじまる

1995年 信州大学繊維学部感性工学科設置

1998年 日本感性工学会設立

2000年代 ……【官】 文科省・経産省

1997年 文部省科学研究補助金として時限付き分科細目
「感性工学」が設定

現 在 科学研究費補助金 小区分『感性情報学』設定

2007年 国家宣言『感性価値創造イニシアティブ』

日本学術会議での検討

【 社会の動向 】

- 科学技術の発展により、大量生産大量消費の産業形態が構築され、人間生活は、物質的に豊かになった
- 労働環境の悪化、人間性疎外、公害・環境負荷の増大など持続性社会を脅かす経済的・技術的・人間的・社会的な限界を迎えている

【 日本学術会議での動向 】

- **人間を中心にすえた工学・・・工学全般の見直し**
- **第15期（1991年7月22日～1994年7月21日） 第5部材料工学研究連絡委員会に感性工学小委員会が組織される**
- 1995, 1996年12月、日本学術会議講堂 第1、2回の学術シンポジウム開催
- 1997年 文部省科学研究補助金として時限付き分科細目「感性工学」設定
科研費を得て、「感性工学の枠組み」を出版（2001年）
- 第17期（1997年7月22日～2000年7月21日）人間と工学研究連絡委員会
感性工学専門委員会が編成され、学会設置準備委員会が設置
- **1998年10月9日 150名の発起人の賛同を得て、日本感性工学会発足**

参考：鈴木邁、「工学に感性的思考を導入する」、学術の動向、72-74, (1999)

- 平和で豊かな社会に資するために、人間の根源的な能力としての感性を中心にした科学技術としての「感性工学」の創成に挑戦。

正会員	1437名
学生会員	508名
賛助会員（企業会員）	19社

2026/1/10 現在

日本感性工学会について 研究部会・支部

学際的に多様な研究分野「研究部会」・「支部」を設置
新規的な研究課題については「時限付研究会」を設置

あいまいと感性	感性インタラクション	感性計測評価
かわいい人工物	感性教育	感性工房
感性産業	感性事業	ウェルビーイングと感性
感性商品	感性社会学	感性設計学
感性モデリング	感性脳機能	感性哲学
感性ロボティクス	工業デザイン	感性認知ビジネス実践
ファッション	デザインマネジメント工学	生命ソフトウェア
感性価値創造	視覚感性	ヘルスケア & Q O L
合意形成	フードサービス	ヒューマンデザインテクノロジー
感性工学マーケティング・マネジメント	感性知識マネジメント	而立の会（若手の会）

支 部： 関西、中国、九州

研究分野：文理融合の学際領域

- ① 生活環境(衣食住等) 等に関する分野
- ② 感性商品・デザイン・サービス等に関する分野
- ③ 会社経営・ビジネスと感性に関する分野
- ④ 感性認知科学・心理学・感性神経科学・生理心理学等に関する分野
- ⑤ 感性インタラクション、UX、DX、HMI、AI、マルチメディアなどに関する分野
- ⑥ 感性設計学（設計論・モデリング・数理・情報・AI・ソフトコンピューティング・生成モデル・ロボティクス等）
- ⑦ 感性に係る計測・評価技術とその活用に関する分野
- ⑧ 感性リベラルアーツ（感性教育・感性社会学・哲学・合意形成など感性を育む）に関する分野
- ⑨ かわいい・美しいなどの感情・情動とその活用に関する分野
- ⑩ ウェルビーイングに関する分野

事業

- 論文誌・学会誌の発行（J-Stageで公開）

- ① 会誌
- ② 英文誌 ※Impact Factor付
- ③ 和文誌

- 大会

- ① 年次大会（9月頃）
- ② 春季大会を（3月頃）
- ③ 査読セッション・・・短期間で査読を行い原著論文＆口頭発表
- ④ 国際学会（ISASE, KEER）

- 表彰・・・感性工学分野の論文や実務で、創造的な仕事をした方

- ① 論文賞
- ② 技術賞
- ③ 技術奨励賞
- ④ 著作賞
- ⑤ かわいい感性デザイン賞

